

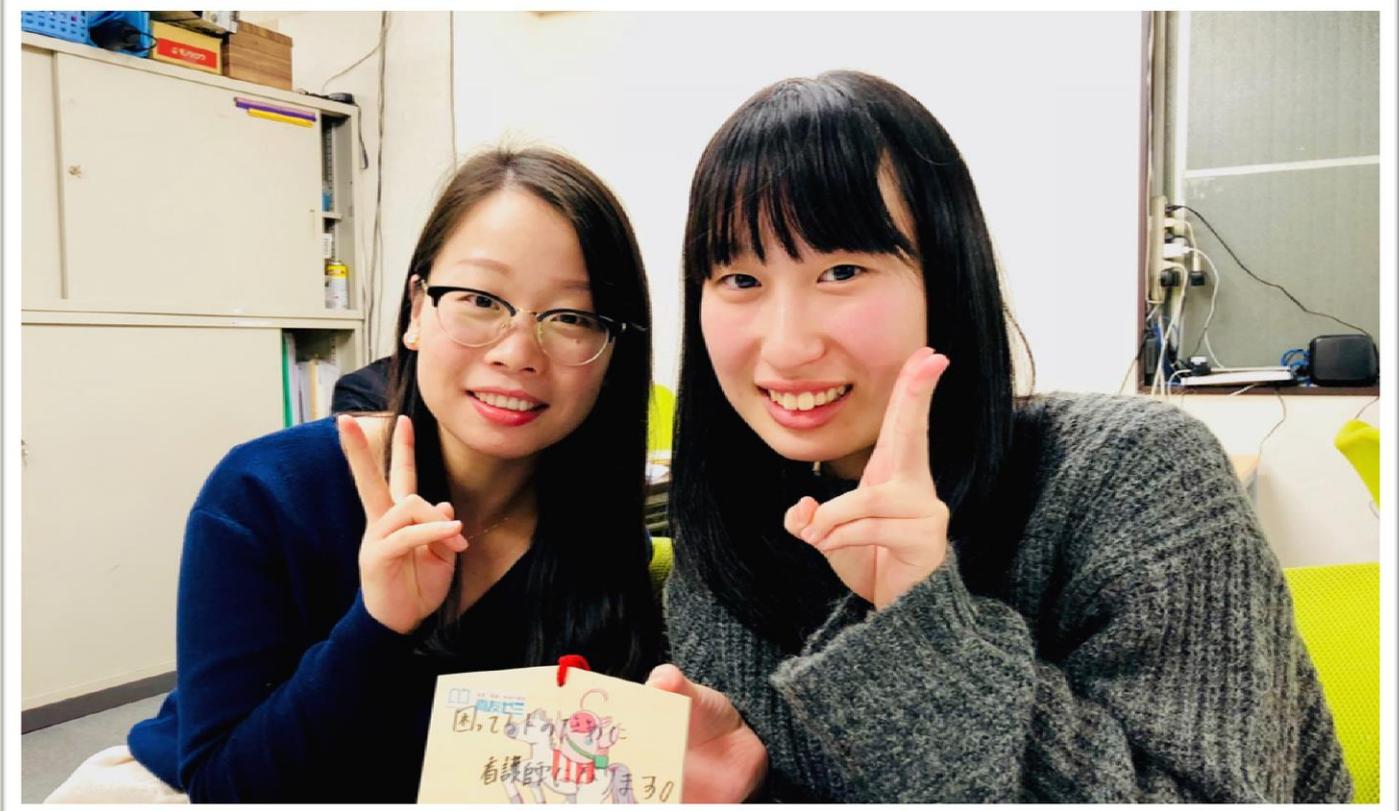
塾長メッセージ

本間 美希
(六日町校塾長)



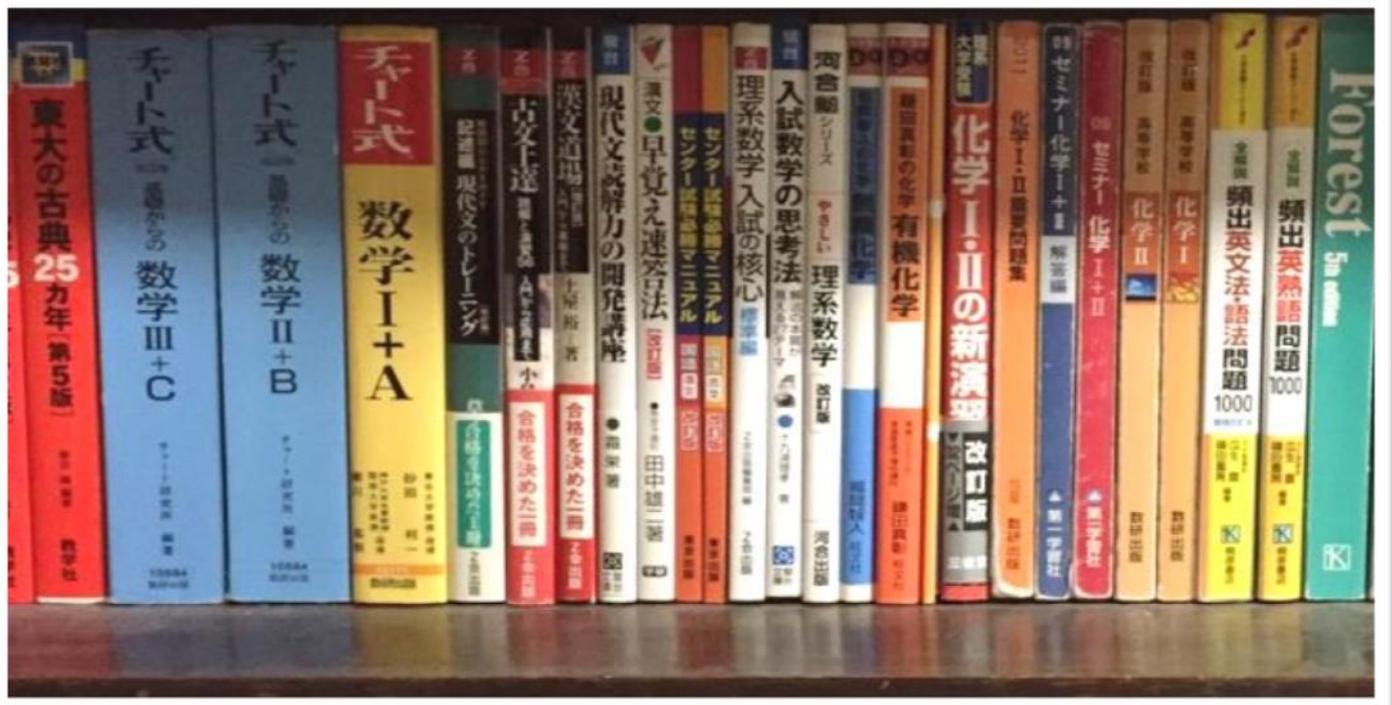
来年のセンター試験まで一年を切った今、いよいよ高2生が受験勉強を本格的に始める時期となりました。教室内の高2生も、スタッフといっしょに受験勉強の計画を立て始めたり、計画にしたがってサテライト講座の視聴その他の勉強を本格的に始めたりしています。

今からというのが大事で、高3の部活引退後からの本格スタートはできれば避けたいところです。過去にベネッセグループが行った調査によると、高2生のうちに受験勉強をスタートさせた場合の第一志望校合格率は65%だそうです。これが**高3生の夏以降からのスタートだと40%以下にまで合格率が落ちてしまう**ようです。私たちの実感としましても納得のいく数字です。



しかし、ただ2月から勉強を始めればいいというものでもありません。昨年第一志望校に合格したある生徒は、勉強を本格的に始めたのは高2生のちょうど今くらいの時期でした。本人によると、第一志望に合格できた理由は「夏の引退の時期まで部活動と受験勉強をうまく両立できたから」だといいます。

確かに、うまく勉強と部活が両立できたかどうかで、これから引退の6～7月までの4～5か月間もの時間（本番までの10ヶ月間のうちの半分近くの時間！）が無駄になってしまうかどうかが決まってしまう。成功のカギは、部活と両立しながらも十分な量と質の受験勉強ができるかどうかなのです。



この生徒は、両立がうまくいった理由は「疑問点があったらすぐに塾の先生に質問をして解決できたから」と「**受験勉強している間は、毎日塾に寄って勉強してから帰宅しても大丈夫なようにいろいろ親に配慮してもらえたから**」だと言っています。夜遅くまで塾で勉強してから家に帰っても、夕飯を用意して待ってくれていたのがありがたかったそうです。

この生徒以外にも、たくさんの生徒が、第一志望に合格できたのは保護者の方からの支援があったからだと言っています。平日は毎日車で迎えに来てくれて助かったとか、勉強のことに一切口を出さずにただ見守ってくれたことがよかったとか。

彼らが第一志望校に合格できたのは、保護者の方からのご支援により塾での受験勉強に集中できたことが大きかったのです。
受験は子供だけが挑む壁なのではなく親もいっしょになって挑んで初めて超えられる壁なのです。校舎の我々スタッフとご家庭での保護者の方とがタッグを組んでお子さんをサポートしていける万全の支援態勢が築けると幸いです。

最後になりましたが、スタッフ一同、今後もより一層指導に力を入れてまいりますので、よろしくお願い申し上げます。

本間 美希(六日町校塾長)



真友ゼミ 合格速報



新潟大学
経済学部

受験を通して、忍耐力ができました。自分を支えてくれる人の大切さを感じました。

——T.Aさん(六日町校)

新潟県立看護大学



看護学部



真友ゼミでは、話しかけやすい先生たちばかりで、丁寧に教えてくれました。

——O.Nさん(新潟校)



法政大学

法学部

おめでとう
おめでとう
おめでとう

少しずつの積み重ねが実を結び、うれしかったです。

——O.Tくん(六日町校)



新潟大学

経済学部

おめでとう
おめでとう
おめでとう

先生のアドバイスに従って、勉強すれば合格できます。

——H.Hさん(新潟校)

現中3生のお子さんがいらっしゃる 保護者の方へ



3年後に 新制度での大学受験となります！

今の中学3年生が高校3年生になるとき2020年度から導入される新しい大学入試制度の対象になります。現センター試験の後継テストの科目から英語がなくなり、**英語の試験は英検等の民間資格検定試験に替わります。**

このように大学入試で英語4技能が評価されるようになるなか、高校の教育現場で最も課題になっているのが「話す力(スピーキング力)」の指導です。授業だけでは、十分に対策できない学校も出てくると思われます。

お子さんには、高1のうちから定期的に英語を話す経験を積ませ、そして、その到達度を見極めるための**英語の資格検定を実際に何回も受けて慣れさせておく必要があります**。受験本番の直前になってから慌てないよう、保護者の方にはお子さんにたくさんの英検の受験機会を作ってあげていただきたいと思います。



すでに資格検定試験は 大学入試で活用されている！

下記の一覧をご覧ください。実は、すでに多くの有名大学が「より優秀でグローバルな意識が高い学生を確保するため」入学試験において民間の検定試験を活用しています。また、その民間の英語資格検定試験として、およそ7割の受験生が受験していたのが英検です。(全国検定振興機構の調査による。)

取得した級に応じて**英語の試験を免除**したり、あるいは**加点**したりとさまざまな優遇措置が与えられます。

入試優遇制度を活用している主な大学一覧*

北海道教育大学	国際教養大学	千葉大学	お茶の水女子大学
亜細亜大学	一橋大学	学習院大学	国際基督教大学
首都大学東京	上智大学	青山学院大学	中央大学
津田塾大学	東京海洋大学	東京基督教大学	東京大学
東洋大学	日本大学	法政大学	明治大学
立教大学	横浜市立大学	金沢大学	信州大学
静岡大学	名古屋市立大学	同志社大学	立命館大学
関西学院大学	関西大学	近畿大学	神戸市外国語大学
広島大学	九州大学	北九州市立大学	琉球大学

※公益財団法人日本英語検定協会のデータをもとに掲載しております。

最新の情報は各校ウェブサイトや募集要項等でご確認ください。

英検は何回も受けるべき！ 試験慣れこそが成功のカギ！

英検は年に3回、1月、6月、10月にそれぞれ一次試験があります。他の科目の勉強を考えると、早めに（3年生の6月までに！）受験することを強くお勧めします。なぜなら、試験に「慣れ」はとても大切です。

「今はまだ忙しいから部活が一段落したら受けよう」なんて思っていると、結局、**試験慣れしないままに挑むことになり試験に失敗するのがオチです**。まずは直近の日程の試験に申し込みましょう！



受験生の保護者の方へのお願い

合否結果が出ましたら必ず塾にご一報下さい

お子さんの受験校の合否結果が出ましたら、すぐに塾に合否結果を報告させてください。

我々真友ゼミスタッフ全員、お子さんの結果報告をドキドキしながらお待ちしております！

テキスト寄付のお願い

不要となった問題集・参考書・赤本をゼミに寄付していただくと幸いです。

真友ゼミに置かれてある多くの参考書類は、今までに卒業した先輩たちが寄付してくれたものです。お子さんに続く後輩塾生たちが勉強しやすくなるよう、ぜひご協力をお願いします。中に書き込みがしてあっても大歓迎です！

合格体験記・インタビューにご協力ください

真友ゼミでは毎年、合格者にビデオ録画によるインタビューをお願いしています。

記録した映像は編集して、後日お送りする予定です。貴重な思い出の記録となるものですし、数年後に就職活動などでも活用できる可能性のあるものになりますので、ぜひインタビューへのご協力をお願いします。



新潟校からのお知らせ 英検対策を始めます！

保護者の方々へ

2020年度から大学入試の英語が大きく変わります！高校の間に**4技能(聞く・読む・話す・書く)の英語の資格検定**を受験し合格することが必要になるのです。

高校生が「**話す力**」を身につけるためには、早くから「実際に英語を使ってみる」経験が大切です！

真友ゼミ新潟校が独自に主宰する「**英検対策コース**」では、高校の英語教育の現場では対応がどうしても追いつかない英語資格検定試験対策を高校に代わって行います！

真友ゼミの「英検対策コース」の売りは、何と云ってもスタッフが「**入試のプロ**」だということ！英検対策と**同時に受験勉強**も一か所で出来るほうが絶対に便利！という高校生のニーズにパーフェクトに応えます。



・**英語4技能に完全対応!!**

☞合格に必要なスキルを効率よく学べる

・**少人数のグループ指導!!**

☞回数制なので日程の組合せが自由

・**定期的に無料実力テストを実施!!**

☞到達度を確認しながら合格へ導きます

英検3級から準1級まで!!*

*英検1級と他の英語民間資格試験の対応は応相談。

まずはお気軽にお電話ください！

フリーダイヤル **0120-972-992**



学びは未来のチカラになる。

真友ゼミ

担当：潘(ハン)

LINE@友だち追加 

